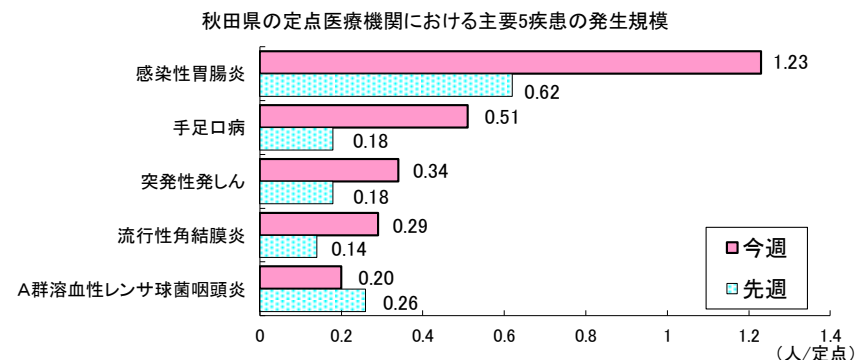




【第34週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で2.0倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、能代、大仙で増加、秋田中央、横手、湯沢で同規模、北秋田で減少しています。
2. 手足口病は、県全体で2.8倍に増加しています。保健所別では、秋田市、能代、由利本荘、大仙で増加、大館、横手で減少しています。
3. 突発性発しんは、県全体で1.9倍に増加しています。保健所別では、大館、北秋田、大仙、横手、湯沢で増加、秋田中央で同規模、秋田市で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減	第33週	第34週	増減			
RSウイルス感染症																														
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.06	0.03	↘													0.25	↗									0.50	↘			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.26	0.20	↘	0.33	0.29	↘															0.75	↗	0.33	0.33			0.25	↗		
感染性胃腸炎	0.62	1.23	↗	0.67	2.00	↗		0.75	↗	1.50		↘		1.67	3.33	↗	1.75	1.75				1.75	↗	0.33	0.33		0.25	0.25		
水痘	0.06	0.06							0.50	0.25	↘																0.25	↗		
手足口病	0.18	0.51	↗	0.33	0.86	↗			0.25		↘				0.33	↗						0.50	↗		2.00	↗	1.00	0.33	↘	
伝染性紅斑	0.03		↘																0.25		↘									
突発性発しん	0.18	0.34	↗	0.50	0.14	↘	0.25	0.75	↗	0.50	2.00	↗				0.25	0.25							0.25	↗		0.33	↗	0.25	↗
ヘルパンギーナ																														
流行性耳下腺炎																														
川崎病																														
急性出血性結膜炎										*	*			*	*		*	*									*	*		
流行性角結膜炎	0.14	0.29	↗	0.33	0.67	↗				*	*			*	*		*	*									*	*		
細菌性髄膜炎																	*	*												
無菌性髄膜炎																	*	*												
マイコプラズマ肺炎	0.25		↘	1.00		↘				1.00		↘				*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。  
「\*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

- ・二類感染症の結核が秋田市保健所管内から1人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が秋田市保健所管内から2人、湯沢保健所管内から1人、報告されました。
- ・五類感染症の劇症型溶血性レンサ球菌感染症が秋田市保健所管内から1人、梅毒が秋田市保健所管内から2人、能代保健所管内から1人、報告されました。
- ・指定感染症の新型コロナウイルス感染症が秋田市保健所管内から1人、大仙保健所管内から2人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-33週		34週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	10625	61	2
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
鳥インフルエンザ(H7N9)				
三類	コレラ	1		
	細菌性赤痢	55		
	腸管出血性大腸菌感染症	1402	23	3
	腸チフス	19		
	パラチフス	7		
四類	E型肝炎	291	2	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	94		
	エキノкокクス症	10		
	黄熱			
	オウム病	4		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	8		
	キャサナル森林病			
	Q熱			
	狂犬病	1		
	コクシジオイデス症	3		
	サル痘			
	ジカウイルス感染症	1		
	重症熱性血小板減少症候群	45		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			

類型	疾患名	1週-33週		34週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱	3		
	つつが虫病	111	8	
	デング熱	41		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	157		
	日本脳炎	1		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	3		
	マラリア	15		
	野兔病			
	ライム病	17		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	1223	7	
レプトスピラ症	3			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	369		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	155	2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1035	10	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	22		
	急性脳炎	364	4	
	クリプトスポリジウム症	4		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	95	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	492	3	1
	後天性免疫不全症候群	644	1	
	ジアルジア症	15		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	184		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	12		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1129	9	
	水痘(入院例に限る)	228	7	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	3547	43	3
	播種性クリプトコックス症	89	1	
	破傷風	63	1	
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	76		
	百日咳	2632	9	
	風しん	85		
	麻しん	13		
薬剤耐性アシネトバクター感染症	9			
指定	新型コロナウイルス感染症	42	3	

トピック

<ヘルパンギーナについて>

ヘルパンギーナはいわゆる夏かぜの一種で、毎年流行します(図)。患者の90%が5歳以下ですが、まれに大人も発症します。原因となるA群コクサッキーウイルスなどのエンテロウイルスには、多くの型があるため何度も感染する可能性があります。

■感染経路

咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込んだり(飛沫感染)、唾液や便に排出されたウイルスが手指を介して鼻や口から摂取されたりすること(接触感染)で感染します。

■症状

2~4日の潜伏期間の後、突然の発熱やのどの痛みが現れます。のど粘膜は発赤し、口腔内には小水疱がみられ、水疱がやぶれると浅い潰瘍になります。のどの強い痛みで飲食が困難になり脱水症状を起こすこともあります。患者の多くは1週間程度で回復しますが、まれに無菌性髄膜炎や心筋炎を合併することがあるため、発熱、頭痛、嘔吐がひどいときは早めに医療機関を受診しましょう。

■予防

エンテロウイルスはアルコール消毒の効果が弱いとされるため、予防には特に咳エチケットやハンドソープによるこまめな手洗いが重要です。便へのウイルスの排出は回復後も2~4週間続きますので、おむつを替えた後はよく手を洗いましょう。

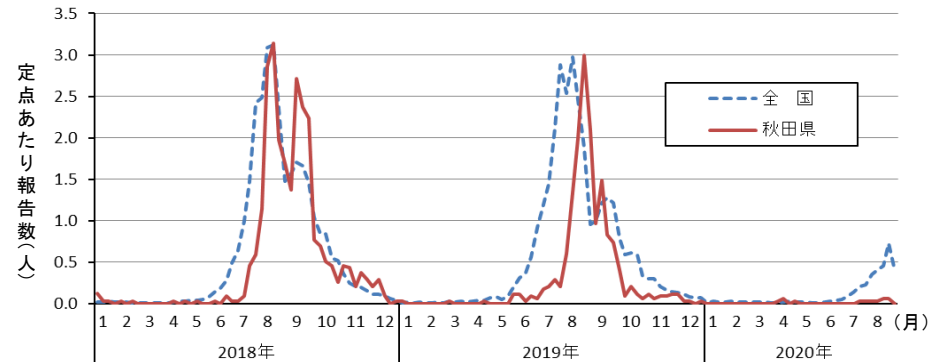


図 ヘルパンギーナの定点あたりの患者報告数



**【注意報・警報の発生状況】**

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

**【注意報・警報の定義】**

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		